

講義名	研究演習（全学部）		
講義コード	45203	授業形態	
担当教員	金 承珠	開講期・曜日・時限	後期 木曜日 5時限
		サンパリング・コード	SEM250

学部・学科	演習分野
全学部	観光・地域活性化

概要説明

本ゼミは、「観光学科」の教員が担当します。

本ゼミでは、神戸市における若者の視点から、これまで十分に活用されていない隠れた地域資源に着目し、その有効活用方法や新たな価値創造、地域活性化の可能性について探究します。

フィールドワーク、プロジェクト企画、ディスカッション等を通じて、地域文化、観光資源、コミュニティ資源を持続可能な地域発展にどのように結びつけることができるかを学びます。特に、若者ならではの発想を活かした実践的な地域連携活動を重視します。また、韓国の大学との連携を通じて、国際的な視点から地域活性化および観光振興について考察します。インバウンド増進の観点から、海外観光客の誘致方法や、外国人観光客にとって魅力的な地域体験の創出について検討します。本ゼミの最終目標は、地域価値の創造、地域経済の活性化、国際交流の促進に貢献する実践的な提案をまとめることです。

内容の詳細は、1回目の授業で発表します。

主な卒業論文のタイトル

- ・地方創生における日本版DMOの課題と展望 - DMOやつしろを事例に -
- ・熊本県における外国人観光客の消費促進に関する研究
- ・観光ガイドマップの活用による観光資源の発見及び認知度向上について - 新町・古町を事例として -
- ・住民主体のシティプロモーションへの大学生の参画 - くまもと・まち魅力向上協議会と連携して -
- ・熊本県における外国人観光客の消費促進に関する研究
- ・グリーンランドにおける集客戦略の方向性に関する研究
- ・地域ブランドの活用による地域活性化に関する研究 - 玉東町の地域資源活用を事例として -
- ・コンテンツツーリズムを用いた地域再生の可能性について
- ・ウィズ・アフターコロナにおけるまちづくりについて - 産学官連携の視点から -

教員からの要望

問題解決型演習として、地域を元気にするために楽しくフィールドワーク（調査・ヒアリング）を行い、そのプロセスや研究結果を発表も行います。ゼミ活動に積極的・創造的に参加する学生を希望します。

研究活動を通じて、理論や仮説を検証するために、現地の関係者や現地住民等に聞き取り調査を行い、「現地の人」との積極的にコミュニケーションを図ることも必要になります。この「現場」での活動は、専門的知識や調査技法などの有効性を判断するとき、極めて有効であり、自ら課題を発見し、解決できる能力を養成できると考えています。

私は「学生と地域の人（連携組織・社会人）をつなげる仲介役」を主な役割として、皆さんが自発的・自律的な議論やゼミ活動ができるゼミにしていきたいと思えます。

選考方法

- ・志望者の研究室訪問および研究室での面談、オンライン面談に応じます。
- ・面接の詳細は後日、研究室の前およびRyuka Portalなどでお知らせします。

評価方法
出席状況（重視します）、取り組み姿勢・協力態勢(各種ワーク類、成果物)、発表やプレゼンの内容等を総合的に判断します。

到達目標・成果物

教員英字氏名	研究室
SEUNGJOO KIM	5423

最終学歴
東洋大学大学院 国際地域学研究所国際地域専攻博士後期課程

学位
国際地域学（博士）

主な研究活動・社会活動・研究業績

- 【研究テーマ】
持続可能な地域づくり
- 【主な社会活動】
公益財団法人日本交通公社 観光地マネジメント研究会 研究員（2015年3月迄）
益城歴史資産復興協議会 体験型観光のプロデュース担当（2019年3月迄）
平成30年度 菊陽まち遊び実行委員会 実行委員（2021年8月迄）
- 【主な研究業績】
・温泉地における地域マネジメントに関する研究 - 温泉管理主体の実態分析を中心に -
・観光地振興における観光客満足度およびロイヤリティに関する研究 - 浜州オルレと九州オルレを事例に -
・観光による地方創生における「日本版DMO」に関する一考察 - 株式会社くまもとDMOを事例に -

趣味・特技

フィルムカメラ

所属
人間社会学部 観光学科

所属学会
余暇ツーリズム学会、日本国際観光学会、日本地域政策学会、日本観光経営学会

専門分野

コモンズ論、持続可能な観光、温泉地域活性化、地域コミュニティ

担当科目

観光マーケティング論、観光事業論、観光産業論、観光政策論

備考

- ・週末や祝日にプロジェクト活動をすることもあります（早目に予定します）。
- ・学外での活動に関する諸費用(交通費など)については、基本的に各自負担となります。

実務経験の有無及び活用